

会わのなかな条九 交流会学習第3回

「オールかながわ」づくりを

野党共闘を前進させる運動を！

2018年10月28日・29日、第3回九条かながわの会泊り込み学習交流会が、七沢温泉・福元館で開催され、32名が参加されました。

28日は午後から学習会、夕方からは夕食を兼ねた交

流会、翌日の29日は、小林多喜二の滞在した離れや、隣の元湯玉川館にある中村雨紅の「夕焼け小焼け」の歌碑を見学しました。

篠原義仁（弁護士）

安倍改憲と私たちのたたかい

「改憲の動きと国会の動

向」、「安倍9条改憲と私たちのたたかい」、「自民党改憲4項目について」の3つのレジメと新聞記事の資料を駆使しながら、1時間間にわたって安倍9条改憲の狙いと今後の動向について話しました。

通常国会での改憲発議は不発

先の通常国会は32日間延

安倍改憲の狙い

長したが、3000万署名を中心とする反対世論の高揚、安倍政治の構造的腐敗の噴出で改憲発議は不発に終わった。



篠原 義仁さん

9月20日の自民党総裁選では、予想どおり安倍首相の3選となったが、地方票では接戦となり、安倍政治の腐敗に対し自民党内にも相当程度の批判があることが浮き彫りにされた。

しかし、その後の第4次安倍改造内閣と党役員人事

ではお友達を起用し、改憲への強い覚悟を表明した。安倍改憲で狙う憲法9条への自衛隊の明記は、専守防衛から集団的自衛権の行使を含む海外での武器使用任務が拡大し、米軍との一

体化を強化した自衛隊に憲法上の地位を与えるものだ。緊急事態条項も、ナチスに見習って憲法で定められた人権をはく奪し、戦争への道に突き進むためのものだ。

教育の無償化は大きく後退して教育の権利確保の努力義務となり、逆に教育の国家統制を図る手段となった。

護憲勢力は奮闘しよう！

沖縄での3つの選挙での与党の敗北は、安倍政権へ

の強い打撃になった。

しかし、安倍首相は、来年参議院選挙前までの国民投票の実施のために、10月24日から始まった臨時国会での改憲発議を何が何でも狙ってくる危険性がある。護憲勢力は必死に改憲発議を許さないために奮闘することとなる。

また、来年4月の統一地方選挙、夏の参議院選挙に向けて、野党共闘を前進させる運動も極めて重要だ。

九条かながわ

No.17

発行：九条かながわの会

2018年11月15日

横浜市神奈川区ニッ谷町2-9 ニッ谷コア202

電話 090-7175-1911 fax 045-894-1052

<http://9kanagawa.la.coocan.jp/>

e-mail article9@nifty.com

大塚茂樹さん(ノンフィクション作家)

心さわぐ護憲派論

語を紡ぎだすことだ。

「心さわぐ護憲派論―政権支持率の高さから希望を紡ぎ出す」について、以下のように講演しました。

安倍政権の支持基盤

安倍政権は、民主党政権への失望の追い風を受け、アベノミクスへの期待、中国・北朝鮮との緊張関係で、中間派市民の支持も得て、長期政権となった。

政権支持者は、民主党政権時の混乱を脱したこととアベノミクスを評価しているが、批判者は憲法と立憲主義を蹂躪し、民主主義をふみにじり、戦争への道を危惧している。そのずれを認めつつ、膨大な中間派に訴えることが必要だ。

曖昧な護憲派

本日のハイライトは、安倍政権批判が高まれば高まるほど、政権への支持率が盛り返す局面もあるという仮説を織り込んで、現在を示唆する物



大塚茂樹さん

る。志賀直哉の政治に従属した文学という批判、ハウスキーパー問題もある。

私は主著『ある歓喜の歌―小松雄一郎・嵐の時代にベ―トーヴェンを求めて』（同時代社）で1930年代の左翼運動家が直面せざるを得なかった多種多様な苦難について描写した。

特定秘密保護法、武器輸出三原則の見直し、安保法制、共謀罪など、人権や自由を抑圧する安倍政権という批判も妥当である。

膨大な中間派を重視しよう

抵抗者たちの不屈さと輝きを究明すると同時に、民衆がいかにか戦争へと動員されていたかを本格的に解明することが重要である。

1930年代から戦時社会を準備してきた体制が、戦後

社会に貫通して現代日本社会を作っているとの見方が有力だ。膨大な中間派を重視するという問題意識は、過去の歴史への真摯な問いかけからも導き出される。

現代日本社会を重層的な存在として見つめることが必要だ。公文書改竄問題でも、労働者の長時間労働でも、日本社会に潜む負の存在の根深さを感じさせる。

九条の会は頑張りどころ

「それでも、しんぞう号を守ろうとした三郎さん」という物語を作ってみた。

日本には三郎さんのようなやさしい人が多く、その様な人にも手短かにわかりやすい言葉で語ることが求められている。

九条の会もいよいよ第4コーナ―、頑張りどころです。

岡田 尚・事務局代表

九条の会の今後の活動

最後に、岡田尚事務局代表が「九条の会の今後の活動について」次のように話しました。

篠原報告にあったこのような緊迫した情勢のなかで、また、大塚報告が提起した運動の視点をどう取り入れて、これからどう活動していくべきか、



講演する岡田尚事務局代表

議論したい。

九条の会アピールの意義

安倍9条改憲NO!

3000万人
署名にあなたも

憲法を生かす全国統一署名



九条の会は14年前のアピールにあるように、組織としてでなく、国民一人ひとりが主権者の責任として、できることを、今すぐ始めることの重要性を訴えてきた。
地域に7500（神奈川県は3000+α）を超え

る会ができ、第1次安倍政権の改憲目論見はいったん阻止した。

全国市民アクションへの参加

2017年9月には、安倍条改憲NO！全国市民アクションに参加し、6月と9月に「安倍政権退陣に追い込む」声明を出した。

今や安倍改憲は加速し、改憲布陣で強行突破を狙っている。国民投票を見据え、衆議院小選挙区ごとに改憲本部を設置し、研修会、街頭演説会もすると下村氏は発言している。しかし、改憲について自民党内は一枚岩ではなく、改憲4項目も細田私案で今後の日程もタイトな綱渡りである。

安倍首相は3年期限の後がなく。任期切れが近づくと「死に体」になるのが権力の常だ。

九条の会の課題

そこで私たちは、9月17日の九条かながわ大集会で発表した「あつぎアピール」にあるように3000万署名の達成、県内851の小学校区をめぐし、当面、408の中学校区での九条の会づくりを成し遂げよう。

具体的には、2月23日の法律家4団体の山下公園での集会・パレードに協力し、成功させよう。ヤマ場を迎えた安保法制違憲訴訟（全国で22地裁25事件、原告7479名）を支援しよう。



岡田さんの講演を聞く参加者

また、「憲法フォーラム」「平和憲法を守るかながわの会」などとの共同・共闘を進め、改憲阻止のための「オールかながわ」づくりをめざそう。

残念ながら、時間オーバーで質疑や討論の時間がなくなりました。深くお詫びします。



翌日は多喜二と雨紅を偲ぶ

多喜二の足跡

空けて10月29日、朝食後、小林多喜二が滞在し、「オルグ」を執筆した福元館の離れを見学しました。

多喜二が着た丹前、著書や写真が展示されていました。

多喜二は、1931年1月22日、豊多摩刑務所



多喜二の滞在した離れでの竹中博美さん

から保釈出獄し、3月中旬

から獄中の疲れを癒すために「オルグ」のノートをもつ

てここに籠りました。4月

7日に「オルグ」を書き終

えたといわれていますが、

いつまでここに滞在したか

は不明です。

多喜二の言葉によれば、

「プロレタリアートの逞し

い意思と愛情のありかた」

を描いた作品です。

「夕焼け小焼け」の石碑

その後、1933年2月

20日に築地警察署に検挙さ

れ、その日のうちに拷問で

殺されました。

私たちは、多喜二を偲び、

微力ながらも多喜二の思いを受け継ぎたいと感じました。

その後、小池康夫さんの

案内で、隣の元湯玉川館の

庭で、中村雨紅の「夕焼け

焼」の石碑を見ました。丁

度、玉川館のご主人が来ら

れ、解説していただきました。

多くの人に親しまれて歌

われている「夕焼け小焼け」

は、作者・中村雨紅が故郷

八王子恩方の情景を思っ

作られました。雨紅は、厚

木実科高等女学校で教師を

勤め、厚木を終生の地とし

ましたが、この七沢の風景

に故郷を思い、幾度となく

元湯玉川館に宿泊し、自ら

選んでこの場所に歌碑を建

てたとのことでした。

盛り上がった交流会

入浴と休憩の後、夕食を兼ねた交流会が大広間で行われました。

馬場英明さんの名司会により、参加者全員が発言し、歌などを披露しました。

また、二次会も11時ごろまで行われ、交流を深めました。



馬場英明さんの名司会



中村雨紅の歌碑と玉川館のご主人